



会 議：国際海事機関（IMO）第109回海上安全委員会（MSC 109）

開催場所：国際海事機関（IMO：英国ロンドン）及びオンラインのハイブリッド

会議期間：2024年12月2日～12月6日

海技研からの出席者：

現地参加 粉原 直人：知識・データシステム系シミュレータ研究グループ 上席研究員

澤田 涼平：知識・データシステム系知識システム研究グループ 研究員

太田 進：研究特命主管（日本船舶技術研究協会審議役）

概要：海上安全委員会（MSC）は、

- これまで禁止されていた毒性ガス貨物の燃料としての使用を一部のガス（アンモニア等）については可能にする液化ガスのばら積運送のための船舶構造および設備に関する国際規則（IGCコード）の改正案を採択した。
- 火災安全・防爆等の要件に係る国際ガス燃料船安全コード（IGFコード）の改正案を採択した。
- 自動運航船のための非強制コード（MASSコード）について、MSC 111での最終化に合意した。



### 主な貢献

粉原及び澤田は、自動運航船のためのゴールベース型規則の策定（議題5）を担当し、その作業部会にも参画し、審議に貢献した。

太田は、主として日本船舶技術研究協会審議役として参加し、義務規則改正の検討と採択（議題3）の審議を担当し、同議題の起草部会（DG）にも参画し、審議に貢献した。

### 主な審議結果

当所職員が担当した議題の主な審議結果は以下の通りである。他の事項及び審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

#### 1 議題3 義務規則改正の検討と採択

委員会はこれまで禁止されていた毒性ガス貨物の燃料としての使用を一部のガス（アンモニア等）については可能にする液化ガスのばら積運送のための船舶構造および設備に関する国際規則



(IGC コード) の改正案を採択した。発効は 2026 年 7 月 1 日の予定。委員会はさらに、この改正案を発効に先立って適用することを認める MSC サーキュラーを承認した。

委員会は、火災安全・防爆等の要件に係る国際ガス燃料船安全コード (IGF コード) の改正案を採択した。発効は 2028 年 1 月 1 日の予定。

## 2 議題 5 自動運航船のためのゴールベース型規則の策定

委員会は、次回の MSC 110 で非強制的 MASS (Maritime Autonomous Surface Ship: 自動運航船) コードを作成するとのタイムラインに基づき、MASS に関する第 3 回会期間作業部会の結果を踏まえて、各国提案文書および MASS コード案の残りに係る作業を進めた。本年 9 月に開催された MSC/ISWG/MASS 3 は MASS コードの草案の第 17 章 (航行の安全) および第 20 章 (防火、火災検知および消火) を最終化した。今次会合において委員会は、残った章について今次会合に提出された文書を踏まえて検討を進めた。MSC 109/5/12 (フランス、IMarEST、ITF) の自動運航船特有の船員の労働環境を考慮すべきとの提案については、IMO 事務局が ILO 事務局と情報を共有しつつ、進め方を検討することに合意した。また委員会は、ISWG で未処理となっていた第 7 章 (リスクアセスメント)、第 12 章 (接続性)、第 18 章 (遠隔操作)、第 23 章 (搜索救助) における機能要件案に原則合意した。さらに、第 12 章を第 17 章 bis として第 2 部から第 3 部へ移動し、スコープを MASS と遠隔操船センター (ROC) との通信に限ることに合意した。また、第 18 章、第 23 章について議論し、原則合意に至った。MSC 109/5/11 (韓国、ICS) で提案された緊急時対応の修正案については、第 11 章 (安全運航管理) への統合のみを検討することとし、次回 (MSC 110) に検討することで合意した。MSC 109/5/5 (中国) の運用コンセプト (ConOps) の枠組みのガイダンスを非義務的 MASS コードの附属書として含めるとの提案については、中国が関心国と協力して作業を進めることで合意した。

委員会は、ロードマップを更新し、義務的 MASS コードの最終化目標は 2030 年のまま維持しつつ、2026 年から 2030 年までを義務的 MASS コード策定のための経験構築フェーズと位置づけ、非義務的 MASS コードの最終化を MSC 111 に変更 (延期) することに合意した。また、経験構築フェーズにおいて小委員会でのレビューを行うことに合意した。さらに、MSC 110 から MSC 111 の間に少なくとも 1 回、会期間作業部会 (ISWG) を開くことを理事会に要請することに合意した。船長の職務の委任に関するギャップの検討については、引き続き議論することに合意した。

## 3 次回会合

次回の海上安全委員会 (MSC 110) は、2025 年 6 月 18 日から 27 日まで、ロンドンの IMO 本部で開催される予定である。